

キャラクター名
境霧 桂(さかぎり けい)

プレイヤー名

シンドローム	ソラリス		ワークス	ヴィラン	カヴァー	雇われヒーロー
	ソラリス			年齢	19歳	性別
オプション			年齢	19歳	性別	男
覚醒	死	衝動	恐怖	初期侵食率	35	%
出自	9：父親不在		経験	15：元ヴィラン	邂逅	42：友人

	基本値	ワークス	ボーナス	成長	他修正	能力値	HP	24
肉体	0	1	0			1	行動値	4
感覚	0		1			1	(非装備時)	4
精神	2		0			2	戦闘移動	9
社会	6		0			6	全力移動	18

肉体			感覚			精神			社会		
技能	SL	修正	技能	SL	修正	技能	SL	修正	技能	SL	修正
白兵			射撃			RC			交渉		
回避	1		知覚	1		意志			調達	3	
運転：			芸術：			知識：			情報：ヴィラン	7	
運転：			芸術：			知識：			情報：学問	1	
運転：			芸術：			知識：			情報：ヒーロー	4	
運転：			芸術：			知識：			情報：		
運転：			芸術：			知識：			情報：		

武器・コンボ	能力	命中値	G値	攻撃力	射程	メモ
パワーピストル	射撃	1r-1		5		毎シナリオ開幕で購入する。

防具	価格	装甲	回避	行動	メモ
[強化ビジネススーツ]	14	3			装備中【社会】判定の達成値+2。

所持品	
[カテゴリ：ブラックアウト]	
[ヒーローズクロス]	
メモリー：母親/境霧 桂(さかぎり さくら) 関係：恋愛	
メモリー：父親/境霧 幹(さかぎり みきよし) 関係：遠志	
[ハイドアウト]	
[コネ：ヒーローマニア]	
[コネ：Vネットの影]	
[ユニーク：デモンズシード]	
[パワーソース：デーモン]	

ロイス				
対象	感情(pos)	感情(neg)	タイ	消費
Dロイス：序列不能(ブラックアウト)	P	N		
看護婦：白百合 穂弓(しらゆり ほゆみ)	P 信頼	N 不安		
友人：鷲ノ宮 キョウ	P 尊敬	N 恥辱		
シナリオ：	P	N		
PC間：	P	N		
	P	N		
	P	N		
最大財産P:	18	残り財産P:	0	

スキル名	SL	コスト	タイミング	射程	対象	判定	制限	メモ
ワーディング	★	-	オート	視界	シーン	自動	-	
効果：非オーヴァードのエキストラ化								
リザレクト	0	1d10	気絶時	-	自身	自動	↓100	
効果：コスト分のHPで復活								
戦乙女の導き	5	2	メジャー	至近	単体	<RC>	-	
効果：対象の次のメジャーのダイス+Lv、攻撃力+5。								
狂戦士	5	5	メジャー	視界	単体	<RC>	80%	
効果：対象の次のメジャーのC値-1、ダイス+[Lv×2]個。								
オーバードーズ	1	4	メジャー	-	-	-	100%	
効果：組み合わせたエフェクトすべてのレベル+2。								
夢の雫	7	3	オート	視界	単体	自動	リミット	
効果：対象が判定直後。達成値+[Lv×2]する。								
恐れ毒	6	3+1	オート	視界	単体	自動	アージ	
効果：対象のダメージロール直前。攻撃力-10。累積可能。								
タブレット	5	2	オート	至近	自身	自動	-	
効果：ソラリスエフェクト直前。そのエフェクトの射程を視界に変更する。								
多重生成	1	3	オート	至近	自身	自動	リミット	
効果：《タブレット》と同時使用。効果対象を[Lv+1]体に変更する。								
覚醒の秘薬	1	2d10	イニシアチブ	視界	単体	自動	120%	
効果：行動済の対象に使用する事で対象を未行動にする。								
帰還の声	1	6	オート	視界	単体	自動	ピュア	
効果：いつでも。対象エフェクトの使用回数1回復。								
女王の降臨	1	5	セット	至近	自身	自動	ピュア	
効果：メジャー/自動成功の自身ソラリスエフェクトひとつを即座に使用する。								
快楽の香氣	★							
効果：恍惚とさせる快楽物質を生成する。								
無面目	1							
効果：オーヴァードであることを隠せる。								
テーマナンバー	★							
効果：登場時に専用BGMが流れる。								

■設定■
 第一次レネゲイドウォー終結間際、8歳の頃にヴィランの襲撃によって両親と共に大怪我を負う。その際に父親と死別、母親が現在まで続く意識不明の重態となる。自身はその際に一度死に、オーヴァードとして覚醒。現状を理解できずに茫然としているところへと駆けつけたヒーローに保護されるが、その時点で既にヒーローに対する信頼は失っていた。搬送された先で母親は一命を取りとめたものの、生命維持装置を切れば再び命が危ぶまれるという状況が続く中、住む家もなかった事で住処をスラム街と化した湾岸部・有明地区へと移し、母親の保険から入るわずかな金銭で糊口を凌ぐ日々を送る。父親の死亡保険金の大半は母の生命維持装置へと消え、公認オーヴァード制度が交付されるまでの間に生活費と治療費を稼ぐべく近隣の違法店で働くようになっていた。

最初は気づけば——思い返せば事件の以降だ——使えるようになっていたオーヴァードとしての力で快楽を呼び起こす物質を生成し、それを歓楽街で売っていただけであったが、それが目を付けられて割のいい仕事としてヴィランとしての働きを紹介される。数年間、そうしてヴィランとして薬物売りに携わってきたものの、とある大規模な一件で退避させ損ねていた子供を逃がそうとしていた所を鷲ノ宮キョウにより確保される。

近い歳ながらも自身とは対極の立場にあるキョウに噛み付いて暴言交じりに境遇を口走った事で、それを聞いたキョウの慈善活動の一環として医療費を負担する代わりに足を洗い、ヴィラン時の人脈や情報源を使った鷲ノ宮専属ヒーローになる事を条件付けられて更生。性根の部分では更生しきったとは言いがたいものの、現在の立場はそれなりに気に入っている。

【Dロイス：序列不能】は自衛のために自己発進した特殊なレネゲイド運用法のためとも、鷲ノ宮キョウがコネをフル活用して捻じ込んだヒーロー資格だからとも取れる。

一人称・俺 二人称・アンタ、苗字+サン、名前もしくはコードネーム呼び捨て。
 今までの人生経験上、斜に構えた態度が多いものの、目の前で困っている人や危ない目にあっていいる人がいれば助ける為に動いてしまう程度には根は善良。

■演出■

